



2005年11月10日
三菱レイヨン株式会社

炭素繊維の生産能力増強のお知らせ

三菱レイヨン株式会社（本社：東京都港区、社長：皇 芳之）は、炭素繊維の需要増に応えるため、豊橋事業所内で2,200トン/年の焼成ラインを建設することを決定しました。2007年第2四半期の稼働を目指し、投資額は約70億円の予定です。

- 生産拠点 : 豊橋事業所（愛知県豊橋市）
- 生産能力 : 2,200トン/年
- 稼働予定 : 2007年第2四半期
- 投資額 : 約70億円

三菱レイヨングループは、原料であるANモノマーから、レギュラートウ、プリプレグ、更にゴルフシャフト等の加工品まで一貫生産を行っているPAN（ポリアクリロニトリル）系炭素繊維の主力メーカーです。

炭素繊維は、スポーツ・レジャー用途をはじめ、航空宇宙関連用途や様々な産業分野で市場を着実に広げてきました。需要はそれにともない順調に拡大を続け、2009年には30,000トンを超える市場になると予想されます。圧力容器、風力発電等の産業用途の成長や、自動車関連の新市場の立ち上がりを前に、メーカーとしては将来に亘る安定的な供給体制を整えることが急務となっています。

このような状況下、当社グループは需要の伸びに応えるために、豊橋事業所で生産能力2,200トン/年の焼成ラインを2007年第2四半期に新たに稼働させることを決定いたしました。この能力増強は、本年4月の中期経営計画において、炭素繊維の生産設備能力を2007年から2008年にかけて日本で増強すると発表したことを、具体化したものです。

豊橋事業所における炭素繊維の生産能力は、現行の3,200トン/年から5,400トン/年に増強されます。また、2005年末には米国Grafil社の生産能力増強が完了し、SGLグループへの生産委託も2006年第2四半期に当初予定通り開始される予定です。これにより、2007年第2四半期には、グループ全体で7,900～8,150トン/年の生産能力となります。

【三菱レイヨングループの炭素繊維生産能力】

（単位：トン/年）

	2005年10月現在	2007年第2四半期
日本	3,200	5,400
米国	1,500	2,000
欧州*)	0	500～750
合計	4,700	7,900～8,150

*) 欧州は生産委託量

***** 本件に関する問合せ先 *****

三菱レイヨン株式会社 広報・IR室 TEL：03-5495-3100